

地域子ども・子育て活動支援助成事業 実施報告書（別紙2）

団体名	NPO 法人レインボースクールかわさき
-----	---------------------

取組の名称	幼児から高校生までの子どもや子育て世代を対象にした居場所づくりを実施
実施場所	川崎区内（教会、カフェなど）
対象地域	川崎区または区外在住
対象地域の特色・課題	<p>私たちのこれまでの支援活動の中で、新型コロナウイルスの影響により、公共施設の閉鎖などで人との交流が減り、実家の親に頼れないなどの状況で、子育てに孤独を感じている核家族の子育て世代をたくさん見てきました。</p> <p>現在でも学校に行かれない子ども達、ストレスを抱えている子育て世代の人が多く見受けられ、親も子もストレスから精神的に不安定になっても、気軽に相談できる場所が少ないのが現状です。</p> <p>親子が孤立しやすい状況に置かれることを防ぐためには、地域に気軽に遊べる空間や安心して不安や悩みを相談できるような居場所が必要ではないかと考えています。</p>

<p>取組の趣旨・目的</p>	<p>様々な社会状況にあっても、多世代・多職種・多国籍のボーダーレスな仲間助け合い、子どもが安心できる、子育てしやすい地域づくり、子ども達の心に寄り添えるような居場所づくりを行っていきます。私たちの活動が種まきとなり、親も子ども共に育ち、その支援が次世代に承継されていく、そのような地域社会づくりを目指しています。</p>
<p>実施内容・実施スケジュール</p>	<p>① フリースクール「にじのはし」</p> <p>実施内容： 不登校児や居場所を必要としている子供達のためのフリースクールを実施。必要に応じて学習支援なども行う。</p> <p>実施スケジュール：週2回（月・木曜日10:00-16:00） 自由学習、学習支援、季節のイベント行事、遠足など</p> <p>② 親子の居場所「レインボールーム」</p> <p>実施内容： 赤ちゃんが遊べる無料のスペースや子育て世代が子育て相談ができる居場所づくりを実施し、イベントの企画や不定期で子育て相談のお茶会などを開催する。</p> <p>実施スケジュール：週1回（金曜日10:00-13:00）</p> <p>③ 交流会「にじかふえ」（子ども食堂プロジェクト）</p> <p>実施内容： 不登校や支援級の子供達、または保護者達が集い、おにぎりや味噌汁づくりで交流会を行う。交流会メンバーで、「子ども食堂プロジェクト」として企画・運営を目指して子ども食堂の居場所づくりを目指す。</p> <p>実施スケジュール：月1回（第3土曜日14:00-19:00）</p> <p>④ 不登校の親の会「レインボーママカフェ」</p> <p>実施内容：不登校に悩む保護者が気軽に相談できる場所</p>

	実施スケジュール：毎週月曜日10:00-12:00		
参加者の年代	小中高校生(レイン ボールームは未就学 児含む)から子育て 世代まで	定員 (1回あたり)	各活動10名程 度、にじかふえは 15名程度
実施頻度	週3~4回 夏季冬季祝日休みあり	活動日数 (年間)	133日
スタッフ体制	保護者や地域ボランティア10名		
連携する団体・ 連携の手法	<p>参加児童が通う学校</p> <p>川崎区の行政機関(保健師、相談員、スクールソーシャル ワーカー、教育委員会など)</p> <p>近隣の郵便局や店舗など</p> <p>連携の手法： 学校へのフリースクール出欠席の報告</p> <p>区の行政機関との情報共有やチラシを配布</p> <p>近隣の郵便局や店舗などにチラシを掲示の依頼</p>		

<p>取組実施により見込まれた効果</p>	<p>取り組み実施により見込まれた効果：</p> <p>不登校児が孤立せずに安全で安心できる居場所で地域の大人に見守られながら健やかに成長することができる。同じような悩みを抱えた子ども同士、支え合い助け合うことができた。</p> <p>当団体のようなフリースクールが先例となり、川崎区内に居場所やフリースクールが増えることで、子供達のニーズに合った居場所を子供達を選択できるようになった。</p> <p>必要に応じて区のスクールソーシャルワーカーと連携し、必要なサポートを繋ぐことができた。</p>
-----------------------	---